

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第 1 期）の改訂について

平成 28 年 3 月に策定した「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間を対象期間としていることから、以下のとおり改訂を行い、対象期間を 1 年延伸します。

1. 改訂の考え方

<計画策定の背景>

本町では、少子高齢化に対応し、地域の持続可能性を有した魅力ある町であり続けるため、将来の人口のあり方を明らかにし、取り組むべき方向性を示した「寒川町人口ビジョン」を策定しました。また、寒川町人口ビジョンにおける将来展望を実現するため、目指すべき将来の方向性に基づき、今後予想される人口減少への具体的な処方箋として、令和元年度までの取り組み目標や施策の方向性、施策内容を明らかにするため、「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成 28 年 3 月に策定しました。

<計画改訂の考え方>

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各種取り組みについては、それぞれの重要業績評価指標（KPI）の進行管理を毎年度行いながら推進し、一定の成果を上げてきたところです。

一方、寒川町総合計画「さむかわ 2020 プラン」は、令和 2 年度までを計画期間としており、現在、令和 3 年度以降を計画期間とする次期総合計画の策定作業を行っています。

今後の寒川町における地方創生の取り組みについては、その人口動向は順調に推移しているものの、依然、将来的な人口減少・少子高齢化を見据えた対応を行っていく必要があることから、引き続き、その取り組みを進めていく必要があります。

また、現在策定作業中の次期寒川町総合計画の計画始期を勘案し、この取り組みの効果的・効率的な推進を図ることを目的として、現行の「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の対象期間を 1 年間延伸し、現行総合計画と同じ令和 2 年度を終期としたうえで、第 2 期の計画の始期を、次期総合計画と同じ令和 3 年度とすることとします。

2. 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂項目

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 28 年 3 月策定）については、上記の考え方により、次の項目について改訂します。

◆対象期間

改訂後の対象期間については、平成 27 年度から令和 2 年度までとします。

◆基本目標の数値目標

各基本目標に設定される数値目標については、令和 2 年度の目標数値として、新たに次のとおり設定します。

	数値目標	令和 2 年度目標値
基本目標 1	町内企業等（法人）の従業者数	18,592 人以上
	製造品出荷額等	3,456 億円
	年間商品販売額	506 億円以上

基本目標 2	転入者数	2,000 人
	令和 2 年度の総人口	48,465 人
基本目標 3	合計特殊出生率	1.6
	令和 2 年度の年少人口	6,450 人
基本目標 4	刑法犯罪件数	348 人
	若い世代からの意見を町政に反映した件数	10 件
	公共交通網に関する満足度	40.0%

◆重要業績評価指標（KPI）

各基本目標に設定される重要業績評価指標（KPI）については、令和 2 年度の目標数値として、新たに次のとおり設定します。

	数値目標	令和 2 年度目標値
基本目標 1	支援メニュー利用数	150 件
	販路拡大支援数	14 件
	新規事業所届出数	85 件
	創業に関する支援数	7 件
基本目標 2	観光入込客数	230 万人
	定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数(累計)	7 件
基本目標 3	小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率	100%
	乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率 (%)	19%
	待機児童数	0 人
	不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数(累計)	10 人
	3 歳 6 ヶ月健診でう蝕のない児の割合	88%
	子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率	100%
	幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率	65%
	学校授業以外の勉強時間が 1 時間以上の割合(小学校)	49%
	学校授業以外の勉強時間が 1 時間以上の割合(中学校)	65%
	基礎力定着度確認問題の正答率(小学校)	80%
	基礎力定着度確認問題の正答率(中学校)	60%
	さむかわ男女共同参画プラン(仕事と生活の調和)実施計画の各事業の年度別目標達成率	100%
	子育て支援に関する団体等への支援数(累計)	12 件
	基本目標 4	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数
若い世代による協働に向けた取り組み件数(累計)		6 件
寒川町内の駅バリアフリー対策率		100%
コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数		217 人

3. 改訂にあたっての留意事項

現行の「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂（対象期間の延伸）にあたっては、国及び神奈川県の実施計画を勘案し、その取り組みレベルにおいて、以下の新たな視点にも留意しながら取り組みを進めることとします。

- 1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ・将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
 - ・企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化
- 2) 新しい時代の流れを力にする
 - ・Society5.0の実現に向けた技術の活用
 - ・SDGsを原動力とした地方創生
 - ・「地方から世界へ」
- 3) 人材を育て活かす
 - ・地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
- 4) 民間と協働する
 - ・地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携
- 5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ・女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
- 6) 地域経営の視点で取り組む
 - ・地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

寒川町まち・ひと・しごと創生
総合戦略
～アクションプラン～
【改訂版】

令和2年3月
寒川町

～目次～

基本目標1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	- 1 -
施策1. きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進.....	- 2 -
基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります.....	- 4 -
施策2. アピールポイントの発見・創出と発信力の強化.....	- 5 -
基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります.....	- 7 -
施策3. 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実.....	- 8 -
施策4. 学力の向上と家庭教育支援の充実.....	- 10 -
施策5. 子育てを応援する地域社会の実現.....	- 12 -
基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります.....	- 13 -
施策6. さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実.....	- 14 -
施策7. まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進.....	- 15 -
施策8. より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備.....	- 16 -

基本目標 1

地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます

数値目標	現状値（基準年度）	目標値（目標年度）
町内企業等（法人）の従業者数	18,592人（H26）	18,592人以上（R2）
製造品出荷額等	3,168億円（H25）	3,456億円（R2）
年間商品販売額	506億円（H24）	506億円以上（R2）

基本目標	施策	総合戦略事業
地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます	きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進	企業総合支援事業
		創業支援事業

施策 1. きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進

エコノミックガーデニング推進事業（企業総合支援事業）

事業の担当					
担当部	環境経済部	担当課	産業振興課		
事業の概要					
<p>経営等に関する専門的な知識を有する有識者（地域経済コンシェルジュ）を配置し、企業等が抱える経営や操業環境などさまざまな課題に対し、企業訪問や企業相談を通じ、その課題解決に向けた支援を展開する。支援にあたっては、町の支援制度を拡充するとともに、経済政策として注目されるエコノミックガーデニングの概念を取り入れ、意欲ある地域の既存企業に対して経済団体、金融機関などと連携した支援を展開する。また、国、県などの支援制度の活用、サポート機関との連携や先進的な企業支援を実施する県内の北のゲートである相模原市との広域連携による支援も併せて実施する。さらに、さまざまな成長ステージにある企業の課題解決に向けた取り組みを官民一体で支援するため、関係機関等のネットワークを構築する。（寒川エコノミックガーデニング推進協議会）</p>					
期待する成果					
<p>企業を支援する体制を確立することによって、的確なアドバイスやサポート機関への橋渡しなどがスムーズに行われるようになり、経営課題に対するきめ細やかな支援が可能となるとともに、雇用の創出や地域経済の活性化が図られる。</p>					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度
①事前準備	②ファーストステップ		③セカンドステップ		

- ① 事前準備
 - ◆ 経営に通じた専門家（地域経済コンシェルジュ）の確保
 - ◆ 連携核となる担当の体制強化
 - ◆ 既存支援策の見直し
- ② ファーストステップ
 - ◆ 地域経済コンシェルジュを中心とした企業訪問を通じた相談支援
 - ◆ 企業等の個別課題に応じた対応と各機関との個別連携
 - ◆ 企業訪問から得られた課題、ニーズに対応するための新たな支援メニューの企画立案
- ③ セカンドステップ
 - ◆ ファーストステップを踏まえた新たな支援メニューの制度運用
 - ◆ 寒川エコノミックガーデニング推進協議会の連携ネットワークの構築とネットワークによる地域企業等の支援。
 - ◆ 支援実績や支援効果の検証と結果を踏まえた支援メニューの見直し
 - ◆ 寒川エコノミックガーデニングポータルサイトによる各種情報発信

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
支援メニュー利用数 (件)	74 (H24~H26 平均)	100	105	115	125	130	150
販路拡大支援数 (件)	2 (H26)	3	8	10	10	12	14

エコノミックガーデニング推進事業（創業支援事業）

事業の担当					
担当部	環境経済部	担当課	産業振興課		
事業の概要					
<p>創業前においては、創業セミナーの開催や設備整備費の融資、創業後においては、運転資金に係る融資、融資の利子補助、各種経営相談等の支援により、創業者をフォローアップする。さらに創業に関する取り組みを官民一体で支援するため、関係機関等のネットワークを構築する。（寒川エコノミックガーデニング推進協議会）</p>					
期待する成果					
<p>有識者を配置することで、的確なアドバイスをすることができるとともに、創業者の課題となっていることを瞬時に理解し、行政として必要な制度設計やサポート機関への橋渡しなどがスムーズに行われるようになる。また、きめ細かな支援で創業者の発展が期待できる。</p>					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度
①事前準備		②ファーストステップ		③セカンドステップ	

取り組みの全体像の説明＜参考＞

- ① 事前準備
 - ◆ 経営に通じた専門家（地域経済コンシェルジュ）の確保
 - ◆ 連携核となる担当の体制強化
 - ◆ 既存支援策の見直し
- ② ファーストステップ
 - ◆ 商工会と地域経済コンシェルジュの連携による創業相談支援
 - ◆ 創業者の個別課題に応じた対応と各機関との個別連携
 - ◆ 創業者ニーズに対応するための新たな支援メニューの企画立案
- ③ セカンドステップ
 - ◆ ファーストステップを踏まえた新たな支援メニューの制度運用
 - ◆ 寒川エコノミックガーデニング推進協議会の連携ネットワークの構築とネットワークによる創業者への支援を展開。
 - ◆ 支援実績や支援効果の検証と結果を踏まえた支援メニューの見直し
 - ◆ 寒川エコノミックガーデニングポータルサイトによる各種情報発信

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
新規事業所届出数 (件)	63 (H26)	63	65	70	75	80	85
創業に関する支援 数 (件)	1 (H26)	6	6	6	7	7	7

基本目標 2

「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくれます

数値目標	現状値（基準年度）	目標値（目標年度）
転入者数	1,920人（H22～26平均）	2,000人（R2）
令和2年度の総人口	48,048人（推計値）	48,465人（R2）

基本目標	施策	総合戦略事業
「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくれます	アピールポイントの発見・創出と発信力の強化	観光振興推進事業
		タウンセールス推進事業

施策2. アピールポイントの発見・創出と発信力の強化

観光推進事業

事業の担当					
担当部	環境経済部	担当課	産業振興課		
事業の概要					
<p>魅力的な観光地とするため、寒川神社を核とした新たな観光拠点に係わる検討を進めるとともに、イメージアップに繋がる取り組みや協働によるイベントの開催、観光消費拡大に向けた産業連携など、観光事業の充実に向けた取り組みを進める。また、町の魅力をさまざまなツールにより積極的に発信し、来訪者の拡大を図る。</p> <p>さらに、「浜降祭」と同日に開催される「さむかわ御輿まつり」の実行にあたっての人的・財政的支援を行う。</p>					
期待する成果					
寒川町の魅力やイベント情報の積極的な発信により、寒川町の認知度の向上及び交流人口の増加が期待できる。					
取り組みの全体像					
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
観光事業等の検討・実施及び誘客プロモーション					
「さむかわ神輿まつり」への支援					

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
観光入込客数 (万人)	187 (H26)	215	220	230	230	230	230

タウンセールス推進事業

事業の担当					
担当部	企画部	担当課	企画政策課、広報戦略課、健康スポーツ課		
事業の概要					
<p>寒川町への定住人口と交流人口の増加に向け、ターゲットとなる「ひと」に対するマーケティングを行う。併せて、その「ひと」たちの定住の可能性を高めるため、まちの魅力を創造し、対象に向けた積極的なプロモーション活動（タウンセールス）を展開する。</p> <p>また、ストリートスポーツをはじめ、主なターゲットである若者に対して訴求効果の高い手法を活用し、より効果的な認知度向上を図る。</p>					
期待する成果					
<p>ターゲットを絞ったマーケティングを実施することにより、より効果的なプロモーション戦略を検討できる。また、定住の可能性が高い人たちにアプローチ（情報発信）することにより、効果的なプロモーション活動が可能となり定住促進が進むことが期待される。</p>					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度
	①ファーストステップ	②セカンドステップ			
		ストリートスポーツ等の活用による認知度向上			

取り組みの全体像の説明<参考>

① ファーストステップ

- ◆ ターゲットごとのマーケティング（定住促進対象者・交流促進対象者ごとに調査分析）
- ◆ 競合分析（近隣市の施策・住環境等の比較分析など）
- ◆ 定住可能性を高めるためのまちの魅力（戦略パッケージ）の構築
例：「湘南地域子育て NO.1」
- ◆ 地域資源（住環境、施策）のブランド化に向けた調査・研究・企画
- ◆ 町外に向けたプロモーション戦略の検討（各種情報発信ツールの効果的発信方法の調査研究）

② セカンドステップ

- ◆ ファーストステップで検討した結果を踏まえて、定住人口増、情報交流人口増、交流人口増、知名度アップ、イメージアップ、地域ブランド化を目的として、各種 PR 媒体を幅広く活用し、寒川町のタウンセールスとして各種プロモーション活動を展開。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数(累計)(件)	0 (H26)	0	方針策定	4	6	7	7

基本目標 3

子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります

数値目標	現状値（基準年度）	目標値（目標年度）
合計特殊出生率	1.37（H25）	1.6（R2）
令和2年度の年少人口	6,100人（推計値）	6,450人（R2）

基本目標	施策	総合戦略事業
子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります	結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実	結婚・出産・子育て環境整備事業
	学力の向上と家庭教育支援の充実	家庭教育推進事業
		学力向上推進事業
子育てを応援する地域社会の実現	子育て応援環境整備事業	

施策3. 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実

結婚・出産・子育て環境整備事業

事業の担当					
担当部	町民部、健康子ども部		担当課	町民安全課、子育て支援課、保育・青少年課	
事業の概要					
<p>妊娠から子育てに係る経済的負担を軽減するため、妊婦健康診査および小児医療に係る補助を拡充する。また、待機児童解消のため、「寒川町子ども子育て支援事業計画書」に基づく保育ニーズへの対応を進めるとともに、保育園における一時預かりの拡大や乳幼児のう蝕予防対策として、2歳児歯科健康診査を実施する。</p> <p>さらに、子育て世代包括支援センターにおける利用者支援（母子保健型：母子保健サービス等の情報提供、支援を必要とする方への支援プラン策定、医療機関等の関係各機関との連携による包括的なサービスを提供行う）及び産後ケア（母胎ケア、乳児ケア、心身ケア、育児サポート、ショートステイ、デイサービス等の実施）に取り組むとともに、不育治療に対する補助や子育て世帯に対する防災意識の高揚を図るための防災講演会等を開催する。</p> <p>また、結婚へのきっかけ作りとして、神奈川県等が実施する婚活イベント等の情報を発信する。</p>					
期待する成果					
<p>妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援の実施により、若い世代が安心して子育てができる環境が整うことで、子を持つとする意欲の醸成と、ひいては出生率の向上につなげていく。</p> <p>また、構築した子育て支援策（湘南地域子育てNo1）を効果的に情報発信していくことにより、湘南地域にて居住地を検討している若い世代から寒川町を選んでもらい、生産年齢人口の確保につなげる。</p>					
取り組みの全体像					
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
小児医療費助成		小児医療費助成の拡充			
妊婦健康診査負担額の助成 一時預かり事業		妊婦健診公費負担額、一時預かり事業の拡充			
		2歳児歯科健診の実施、婚活イベント等の			
		子育て世代包括支援センターにおける「利用者支援事業」、「産後ケア事業」			

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率(%)	100 (H26)	100	100	100	100	100	100
乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率(%)	—	16	—	—	—	19	19

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
待機児童数 (人)	10 (H26)	0	0	0	0	0	0
不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数 (累計)(人)	0 (H26)	2	4	6	8	10	10
3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合(%)	83.8 (H26)	84	85	86	87	88	88
子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率(%)	— ※1	—	—	100	100	100	100
幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率(%)	47.4※2	50	53	56	59	62	65

※1 平成29年度から子育て世代包括支援センターで実施

※2 厚生労働省「平成23年度国民健康・栄養調査」における非常用食糧の用意の有無から参照

施策 4. 学力の向上と家庭教育支援の充実

家庭教育推進事業

事業の担当					
担当部	教育委員会	担当課	教育総務課、学校教育課		
事業の概要					
<p>0歳児から15歳までの子をもつ家庭に、家庭での教育の一助としてもらうため、家庭教育や家庭学習に関する手引きを配布するとともに、あたたかい子育てとしつけのための各種講座等の実施や情報の提供を行う。</p> <p>また、未就学児と保護者を対象に絵本等の読み聞かせをするお話し会を行う。</p>					
期待する成果					
<p>家庭教育に関する手引きを配布することにより、幼児期からの家庭教育の充実を図るとともに、就学期においては、家庭学習の必要性や重要性について理解を深め、家庭学習時間の増加を図るなど、家庭における教育を支援し、子どもの健やかな成長につなげる。</p>					
取り組みの全体像					
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・小学校 (%)	43.8 (H26)	44	45	46	47	48	49
学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・中学校 (%)	60.8 (H26)	61	62	63	64	65	65

学力向上推進事業

事業の担当					
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課、 教育施設・給食課		
事業の概要					
<p>若手教員の増大に伴い不足する教育に関する専門的な知識等を財産として伝承するとともに、若手教員の育成、学校経営の補助を行う専門指導員を小中学校に配置する。また、中学校の普通教室に空調機を設置することで、学習環境の改善を図る。</p> <p>さらに、学力向上を図るため、小中学校の「算数」または「数学」の少人数授業を実施するとともに、町内児童生徒を対象とした「補充学習会（（仮称）寒川にこここ学習会）」を、教職経験者をはじめ、町内個人学習塾の経営者、大学の学生等の地域全体の協力を得て実施する。</p>					
期待する成果					
<p>教職員の資質向上、授業（教育）内容の充実やエアコン設置、トイレ便器の様式化などによる学習環境の改善や地域の資源を活用した補充学習の実施など、児童生徒を取り巻く環境に、さまざまな角度からアプローチすることにより、学力の底上げを図る。</p>					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度
		小学校普通教室等のエアコン設置	→ 使用開始 →		
	中学校普通教室のエアコン設置	→ 使用開始 →			
			中学校特別教室のエアコン設置	→ 使用開始 →	
			トイレ便器の様式化	→ 使用開始 →	
→ 専門指導委員の配置、寒川にこここ学習会の実施、少人数学習の実施 →					

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
基礎力定着度確認問題の正答率・小学校 (%)	77.1	80	80	80	80	80	80
基礎力定着度確認問題の正答率・中学校 (%)	56.9	60	60	60	60	60	60

施策5. 子育てを応援する地域社会の実現

子育て応援環境整備事業

事業の担当					
担当部	町民部、健康子ども部	担当課	協働文化推進課、子育て支援課		
事業の概要					
子育て等と仕事の両立の実現に向け、さむかわ男女共同参画プランに定める取り組みを進める。また、子育て支援に関する事業を行う団体の活動を支援する。					
期待する成果					
企業において従業員が安心して結婚し、子どもを産み育てながら働き続けられる環境を整え、地域においても、地域の団体など地域社会が子育て支援を行うことにより、安心して妊娠・出産・子育てができる社会を構築する。					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
さむかわ男女共同参画プラン（仕事と生活の調和）実施計画の各事業の年度別目標値達成率（%）	100 (H25)	100	100	100	100	100	100
子育て支援に関する団体等への支援数（累計）（件）	0 (H26)	2	4	6	8	10	12

基本目標 4

発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります

数値目標	現状値（基準年度）	目標値（目標年度）
刑法犯罪件数	417 件（H26）	348 件（R2）
若い世代からの意見を町政に反映した件数	0 件（H26）	10 件（R2）
公共交通網に関する満足度	31.2%（H26）	40.0%（R2）

基本目標	施策	総合戦略事業
発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります	さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実	安心なまちづくり整備事業
	まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進	若者参画推進事業
	より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備	公共交通環境整備事業

施策6. さるなる安心した暮らしのための防犯対策の充実

安心なまちづくり整備事業

事業の担当					
担当部	町民部、教育委員会		担当課	町民安全課、学校教育課	
事業概要					
町内の安全を確保するため、防犯灯の増設や公共施設への防犯カメラ設置を進める。また、町内パトロールの実施拡大や寒川駅北口への交番設置により、犯罪への抑止力を高める。					
期待する成果					
町民に安心感を与え、防犯意識の向上に寄与するとともに、地域の防犯力の向上により犯罪を未然に防ぐ。					
取り組みの全体像					
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数(件)	170 (H26)	165	160	155	150	145	140

施策7. まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進

若者参画推進事業

事業の担当					
担当部	企画部、町民部		担当課	企画政策課、協働文化推進課	
事業の概要					
<p>町の次代を担う世代の意見を施策に反映するため、若い世代が主体的に行うまちづくり活動への支援や意見を交わす場の創出を行うとともに、町政に関するテーマについて、意見を述べることができる場として、インターネット上のサイト「寒川町民全体会議」を開設し、日時場所に関わらず、若者が意見を発しやすい環境を整える。</p> <p>また、町民と行政がともに役割分担し、協働して取り組みを進めるため、寒川みんなの協働事業提案制度を実施する。</p>					
期待する成果					
<p>まちづくりの担い手として、若い世代一人ひとりが力を発揮した町民参画が進み、町への誇りと愛着、町民相互のパートナーシップが深まり、若い世代から寒川町が選ばれ、活力あるまちづくりにつながる。</p>					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
若い世代による協働に向けた取り組み件数（累計）（件）	1 (H26)	1	2	3	4	5	6

施策 8. より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備

公共交通環境整備事業

事業の担当					
担当部	都市建設部	担当課	都市計画課		
事業の概要					
町民の町内外での移動の利便性を高めるため、相模線倉見駅のバリアフリー化、湘南台駅方面や辻堂駅方面へのバス路線の新設、交通不便地でのコミュニティバスの運行を行う。					
期待する成果					
すべての人が安心して公共交通機関を利用することができ、交通手段の少ない高齢者ならびに障がいのある方の生活交通の確保及び交通不便地域の解消を図り、町内外への移動がスムーズとなる。					
取り組みの全体像					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度
			倉見駅バリアフリー化		
			バス路線の新設		
コミュニティバス運行					

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値					
		H27	H28	H29	H30	H31	R2
寒川町内の駅バリアフリー対策率 (%)	66.6 (H26)	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	100
コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数 (人)	207※1	113	134	155	175	196	217

※1 平成 26 年度コミュニティバス平日運行乗降客数
土・日曜日運行を平成 27 年 10 月から開始